



アイリスオーヤマ・クラシックスペシャル2024

パ斯卡ル・ヴェロ & 仙台フィル

# フランスから アメリカへ 仏蘭西から 亜米利加



オルガン: 梅千野安希

ガーシュウィン: パリのアメリカ人

コーブランド: オルガンと管弦楽のための交響曲

コーブランド: 交響曲第3番

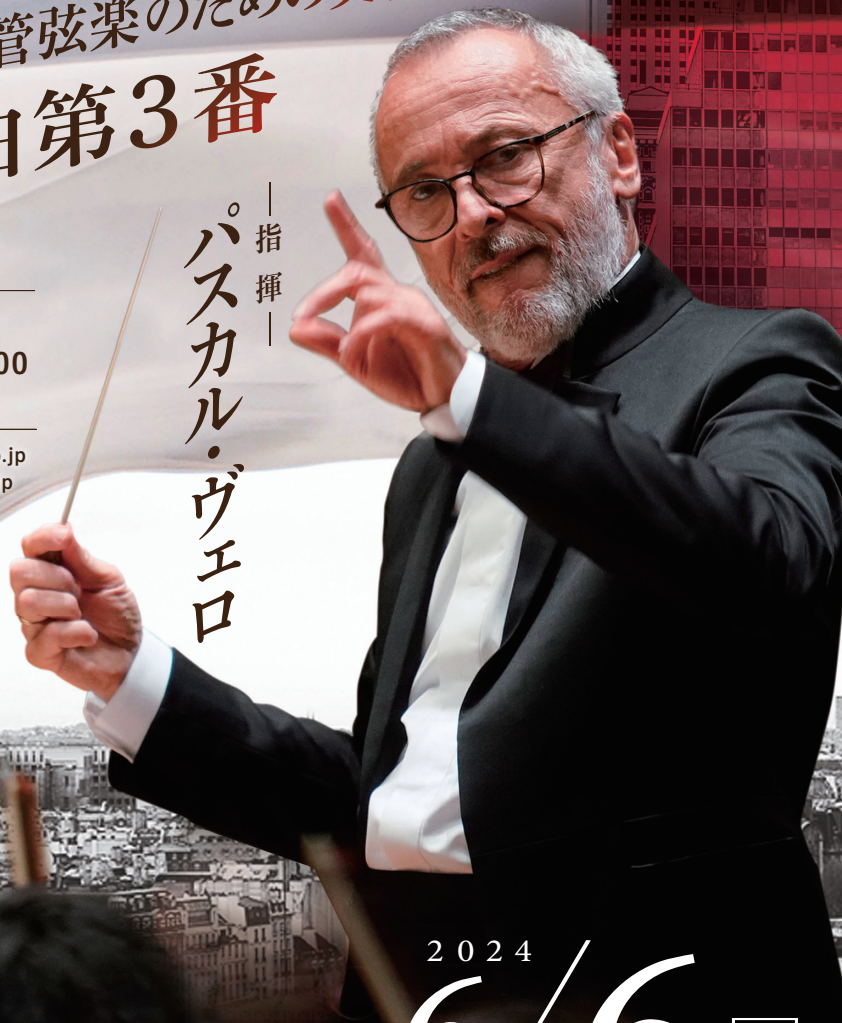
[全席指定] チケット発売日: 2024年1月20日(土)

S席: ¥8,000 A席: ¥7,000 B席: ¥6,000  
C席: ¥5,000 P席: ¥4,500 ユース席\*: ¥1,500

\*ユース席は演奏会当日25歳未満の方が対象。取り扱いにはジャパン・アーツびあのみとなります。  
年齢の証明となるものを提示のうえ、公演当日チケットと引き換えます。お席の指定は応じかねます。

- ジャパン・アーツびあ TEL.0570-00-1212 www.japanarts.co.jp
- 仙台フィルサービス TEL.022-225-3934 www.sendaiphil.jp
- サントリーホールチケットセンター TEL.0570-55-0017
- チケットびあ t.pia.jp [Pコード: 259-297]
- ローソンチケット l-tike.com [Lコード: 33215]
- イープラス eplus.jp

指揮  
パ斯卡ル・ヴェロ



管弦楽  
仙台フィルハーモニー

管弦楽団

2024

サントリーホール 6/6 [木]

- ◎東京メトロ南北線「六本木一丁目駅」より 徒歩約5分
- ◎東京メトロ銀座線・南北線「溜池山王駅」より 徒歩約10分
- ◎都営01系統バス(渋谷～新橋)「赤坂アークヒルズ前」より 徒歩約3分

19:00開演 18:15開場

主催: アイリスオーヤマ株式会社 共催: 公益財団法人仙台フィルハーモニー管弦楽団 株式会社ジャパン・アーツ

※未就学児の入場はご遠慮ください。※開演中の入退場は一切お断りいたします。※やむをえない事情により出演者及び曲目が変更になる場合がございます。※不可抗力により表記日時の催物を中止する場合は、料金の払い戻しをいたしません。

パ斯卡ル・ヴェロ & 仙台フィル  
フランス  
仏蘭西から  
亜米利加  
アメリカ

物語の始まりはこんなふうだ。1920年、ひとりのアメリカ青年がフランスをめざして海を渡ったんだ。ブランジェ先生はすばらしい教師だったし、芸術が沸騰する町で、青年の才能は飛翔した。修行の成果となった **オルガンと管弦楽のための交響曲** は、いやはやなかなかとんでもない曲だよ。こんな若者でなければ書けやしない。こうしてコーブランドは楽壇を驚かせただけで、前後して2歳年上の **ガーシュウィン** がパリに現れる。花の都で自動車のクラクションにびっくりしたりって、まるで自分が田舎者みたいに仕立ててるけど、何のことはない、「**パリのアメリカ人**」はクールなアメリカ讃歌だよ。1946年、コーブランドは **交響曲第3番** を完成させる。熱狂的なリズム、遙か彼方を見つめる抒情、夢と祈り。これこそ利己的排他的ではないアメリカ、自由と民主主義を模索する希望の地アメリカだ！さあ！仙台フィルとヴェロさんによる仏蘭西と亜米利加の物語を聴こうじゃないか。

作曲家 吉川和夫



指揮  
パ斯卡ル・ヴェロ  
Conductor: Pascal VERROT

1959年フランス生まれ。1985年民音指揮コンクール第3位及び齋藤秀雄特別賞を受賞し、小澤征爾の招請によりボストン響副指揮者に就任。その後、ケベック響音楽監督、新星日響首席指揮者を歴任。フランスではピカルディ管音楽監督、コンピエーヌ帝国劇場芸術監督、ディジョン歌劇場音楽監督を務め、オペラ分野でも活躍。2010年、ディジョン歌劇場でのプロコフィエフ「3つのオレンジへの恋」がフランス音楽批評家協会クロード・ロスタン賞受賞。2006年～2017年度まで仙台フィル常任指揮者を務め、フランス音楽の傑作からロシア音楽・アメリカ音楽に至るまで、色彩と躍動感ある響きでファンを魅力し続けてきた。2010年、第250回定期演奏会、ドビュッシー「ペレアスとメリザンド」(全幕・演奏会形式)で本物のフランス音楽の魅力を紹介。2016年、第300回定期演奏会および東京特別演奏会でのベルリオーズ「幻想交響曲／レリオ」は、大成功を収めた。2022年9月、群馬交響楽団と高崎と上田でオールフランスプログラムを指揮し、好評を博した。2018年度より仙台フィル桂冠指揮者。東京フィルハーモニー交響楽団名誉指揮者でもある。



オルガン  
梅干野安未  
Organist: Ami HOYANO

管弦楽  
仙台フィルハーモニー管弦楽団  
Sendai Philharmonic Orchestra

1973年に宮城フィルハーモニー管弦楽団として創立。1989年仙台フィルハーモニー管弦楽団に名称を変更。2011年の東日本大震災では数ヶ月間活動を中止せざるを得ない状況となったが、室内楽等で音楽を被災者のもとに届ける活動を展開し絆を紡いだ。本拠地である日立システムズホール仙台での定期演奏会をはじめ、特別演奏会、全国小中学校訪問演奏会、また「仙台国際音楽コンクール」のホストオーケストラとして出演、「仙台クラシックフェスティバル(せんくら)」でも広く市民に親しまれるなど、「社の都」の音楽文化における中心的役割を担っている。2023年に創立50周年を迎えた。

東京藝術大学オルガン科及び同大学院修了。学内にて安宅賞、アカンサス音楽賞、同声会賞受賞。文化庁新進芸術家海外研修派遣員としてフランスへ留学。パリ国立高等音楽院のオルガン科学士及び修士課程を修了すると共に、エクリチュール(作曲書法)科でも和声とルネサンス対位法のプリを獲得。ピエール・ド・マンシクール国際オルガンコンクール入賞、デュランジュ国際オルガンコンクール優勝。ヨーロッパ各地の著名な国際オルガン音楽祭に招待されるなど、国内外で精力的に演奏活動を行っている。所沢ミュージズ第3代ホールオルガニストを経て、現在、明治学院大学横浜校舎主任オルガニストおよび同大学非常勤講師、アトリエ・バロック講師、日本キリスト教団霊南坂教会オルガニスト。著者として関わった『オルガン奏法 パイプでしゃべろう!パイプで歌おう!』(2020年 道と書院)、セザール・フランク生誕200年記念全曲録音『大オルガンのための12の作品』(2023年 ALM/コジマ録音、レコード芸術&読売新聞特選盤)は各方面から高い評価を得ている。(一社)日本オルガニスト協会理事、(一社)山田音楽財団理事、日本オルガン研究会会員。www.amihoyano.com



水拭きができる清掃ロボット

# BROIT

ブロイト

強力な床洗浄で質の高い床清掃を実現する  
スクラパーロボット誕生



日本の床清掃は  
ここまできた。